2026 年 7 月 9 日

ミス･パリ･ビューティ専門学校　東京校　学校関係者評価報告書

ミス・パリ・ビューティ専門学校　東京校
校長　川口　亜美

学校法人ミスパリ学園　ミス・パリ・ビューティ専門学校　東京校の学校関係者評価委員会は 2026 年度（令和 8 年度）自己点検評価報告書に基づき学校関係者評価を実施しましたので以下の通り報告いたします。

１．開催日時：2026 年 6 月 30 日　13：00～15：30
２．場　所　：ミス・パリ・ビューティ専門学校　東京校
３．参加者

学校関係者評価委員

進藤　大	（株式会社 sline（美容室サンベイス）　代表取締役 日本美容業生活衛生同業組合連合会　渋谷区副支部長）
宮腰　大司	（有限会社ヘアーゲスト　代表取締役）
平山　浩篤	（学校法人ミスパリ学園事務局長）
東　　千晶	（株式会社シェイプアップハウス　代表取締役　副社長）
須賀谷　映子	（NPO 法人日本スパ・ウエルネス協会　教育委員長）
越川　治枝	（株式会社シェイプアップハウス　教育部　部長）

事務局

川口　亜美	（ミス・パリ・ビューティ専門学校　東京校　校長）
宇賀神　亜季	（ミス・パリ・ビューティ専門学校　東京校　主任）
赤坂　真智子	（ミス・パリ・ビューティ専門学校　東京校　主任）

４．自己評価項目ごとの学校関係者評価・意見

① 学生アンケートにおける改善点

【現状】

無記名アンケートや自由記述による学生の意見を基に、継続的な教育改善に取り組んでいる。今年度は、従来のレーダーグラフに加え、棒グラフによる比較分析を導入し、課題の可視化を図った。その結果、内部・外部教員、学科別、項目別に授業満足度や教育設備、新入生支援、実技授業における課題がより明確となり、教育環境や指導方法の見直しにつなげている。

【取り組み】
◆教育環境の改善
学生からの意見を踏まえ、シャンプー台やトイレの増設、水回り設備の修繕を実施し、学習環境の改善を図った。
◆新入生支援・進級率向上
個別フォローや放課後レッスンの充実により、新入生の不安軽減や基礎技術の定着を支援し、進級率の向上につながる取り組みを進めた。
◆実技授業の改善
習熟度に応じたデモンストレーションや質問しやすい授業環境づくりを行い、理解度の向上と主体的な学びを促進した。

② 自己評価点の理由
評価が変化した項目、変化がなかった項目について分析を行い、短期的・中長期的な課題を整理しながら改善を進めている。
【学校運営】
・地域社会への貢献の一環として、学校施設を地域へ開放しているか
近隣企業や豊島区、専修学校との連携事業、学内サロンやミスパリ祭などを実施している。今後は地域との交流機会をさらに充実させ、地域に開かれた学校づくりを推進していく。

【教育活動】
・教員のスキルアップのための研修を行っているか
校内研修や外部研修を継続して実施している。今後は、新任教員の育成や技術指導の標準化に向けて、実技研修や授業見学などをさらに充実させていく。

【学習支援】
・学生のクラブ活動やボランティア活動などの自主的な活動を支援しているか
ボランティア活動の機会を設けているが、参加者が限定的であることから、活動内容や周知方法を工夫し、参加促進に取り組む。
・社会人のニーズを踏まえた教育環境は整備されているか
通信課程を設置しているが、広報不足や募集停止の影響もあり、十分な評価につながらなかった。今後は社会人教育に関する情報発信の充実を図る。

【社会貢献・地域貢献】
・環境問題など社会課題の解決に貢献する活動を行っているか

ウィッグのリユース活動は継続できなかったため、新たな連携先の開拓を進め、資源の有効活用につながる取り組みを検討していく。
・学習成果が国内外で評価される取り組みを行っているか
国内では各種大会等で一定の成果を上げている一方、海外での教育活動や情報発信は十分とはいえない。今後は国際的な教育交流や情報発信の充実を図る。

③ 重点的に取り組む施策
今年度は、「人間力豊かな、好かれる人」の育成を教育目標に掲げ、「技術力・実践力・人間力」の３つを柱とした教育を推進している。年度当初には教職員全体で教育方針を共有し、学生一人ひとりに寄り添う「伝わる教育」の実践を進めるとともに、ノンバーバルコミュニケーションを重視し、挨拶や礼儀、コミュニケーション力など、人間力の向上に継続して取り組んでいる。また、企業と連携した実践的な授業やキャリア教育の充実、個別支援や就職指導の強化を通じて、退学防止や就職率の維持・向上を目指した教育活動を展開している。今後も教育目標に基づいた取り組みを継続し、学生一人ひとりの成長を支える教育を推進するとともに、社会や美容業界から信頼される人材の育成に努めていく。

●委員より
委員からは、早期育成を進める一方で、基礎技術を確実に定着させ、応用力へとつなげる教育の重要性について意見があった。基礎力の定着が技術の向上につながり、顧客満足度や付加価値の高いサービスの提供にも結び付くことから、技術を習得するだけでなく、「なぜこの技術を学ぶのか」を理解し、自ら考え行動する力や人間力を育成することが重要であるとの提言があった。
また、学校運営については評価が安定してきていることから、今後は各校の特色を生かした長期的な教育ビジョンをより明確にするとともに、国内に加えて海外の専門職教育にも目を向け、学園全体の教育の質と専門職教育としての価値をさらに高めていくことが期待されるとの意見があった。

●全体総括
学生一人ひとりが「この学校で学んで良かった」と実感できる教育環境を整えることは、学習意欲の向上や成長につながる重要な要素である。また、技術力・実践力・人間力を兼ね備えた人材の育成は、卒業後の活躍だけでなく、保護者や高等学校、企業からの信頼にもつながるものと考える。本校では、学生が在学中に「大切にされている」と実感できる教育を通して、その経験を社会における思いやりやおもてなしの心として発揮できる人材の育成を目指している。今後も教職員が一丸となり、一人ひとりに寄り添った教育を実践し、社会や美容業界から信頼され、必要とされる人材の育成に取り組んでいく。

以上